

●数年前のこと。

資料に載ってる「○○宿・陣屋跡」を探して細い路地裏にまで入って歩き回ったが、見つけれなかったことがあった。それが今では地元自治体の公式HPに写真と住所が記載され、その住所で検索すればピンポイントで位置を教えてくれる。

さらに、ストリートビューが現地にまで入ってることには恐れ入った。

陣屋跡を示す標識までちゃんと写ってるではないか……。

今や、わざわざ遠くまで出かけて行って写真を撮ってくる必要などないのだ。

そんな手間やお金を掛けなくても、欲しい情報は居間のソファで得られる時代なのだ。

もはや山奥や藪道にしか逃げ場が無さそうな昨今である。(つ)

●今号からIndesign (Windows) で縦書き記事を作成するようにしました。イチから作り直すのは大変でしたが、ひとつ作れば使い回しが効くし、何より「内容をフレーム内に収める」が便利で便利で、元に戻れません。以前は画像サイズ調整して枠のサイズを手で合わせて……としなければならなかったのがCtrl+Shift+Alt+Eと「フレームを内容に合わせる」の組み合わせでちゃっちゃとできる。感激であります。

あとは旧橋紀行やTRDBなどの定番記事を移植すればWindowsだけで作業を完結させられることになるわけですが、それが結構面倒で……。大したレイアウトじゃないんですけどね。フォントが微妙に変わることになるのも躊躇ってる理由なんです、それはまあ諦めるしかないですなあ。(n)